

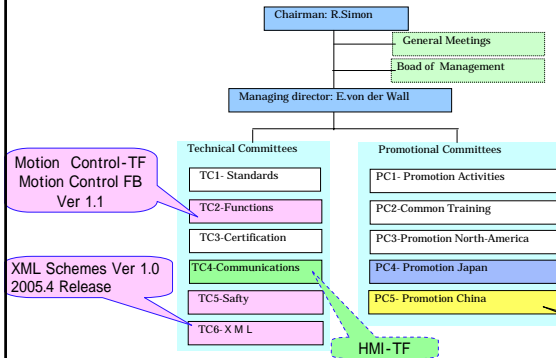
PLCopen Japanの2004年度活動結果 及び2005年度活動計画

PLCopen Japan 代表幹事
川島 重雄

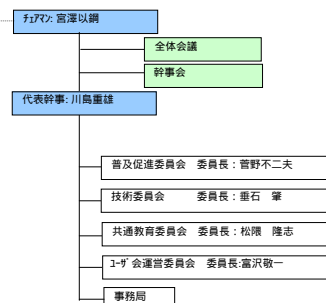
PLCopen Japanの紹介

PLCopenは、欧州に本部を持つPLCのプログラミングの国際標準規格であるIEC 61131-3の普及促進団体であり、ワールド・ワイドな会員組織です。設立 1992年、会員数 101 (21ヶ国)

【PLCopenの組織】



【PLCopen Japanの組織】



PLCopen Japanの活動目的

PLCのプログラミングの国際標準規格であるIEC 61131-3の普及を促進し、産業オートメーション分野の合理化発展に寄与することを目的とします。具体的には、次の活動に取り組みます。

IEC 61131-3, JISB 3503の普及啓蒙

- ・マスメディアやホームページを使った情報提供
- ・技術セミナーの開催、展示会への出展

標準化の推進

- ・テキスト言語(IL, ST)のソフトライブラリーの構築
- ・LD, FB, SFC等非テキスト言語についてのXMLなどを使った標準化、ポータビリティ化等の研究
- ・Motion control FB, Safety等ソフトウェア標準化

国内での認証システムの確立

共通ユーザ教育の実施

ユーザ会の運営によるユーザ開発資源の利用推進

- ・適用事例の調査研究
- ・成功事例の一般化、適用の標準化
- ・ユーザの視点からの規格改訂の提案

PLCopen Japanの活動実績と計画

2002.12
リスタート

2003

2003.1

PLCopenミーティング
技術セミナー・HP開設

2003.7

技術委員会活動開始
会員募集開始

2003.6

PLCopen本部総会

2003.11

SCF2003、技術セミナー
PLCopenミーティング

2004

2004.5

全体会議
技術セミナー

2004.6

PLCopen本部総会

2004.7

技術委XML-WG活動開始

2004.11

SICE XML発表
MOF2004 XML発表展示

2005

2005.1

JEMA技術セミナーXML発表

2005.5

全体会議
技術セミナー

2005.6

PLCopen本部総会

2005.11

SCF2005展示、技術セミナー
PLCopenミーティング

2005.2

技術委Motion Control-WG
活動開始

2005.5

拡大XML-WG
メンバー募集開始

2005.6

名古屋技術セミナー

2005.7

XML-拡大WG活動開始

2005.6

大阪技術セミナー

2004年度の主な活動実績

委員会	主な活動計画	日程等	説明
幹事会	1) 初回総会兼技術セミナー	5月18日	午前10:00~12:00 有決議権者会議 午後1:00~17:00 ユーザ招聘 技術セミナー
	2) Manufacturing Open Forum 2004 Tokyoへの参加	11月16日、17日	2日間田町NNホール、展示・セミナー
	3) 幹事会開催	7回開催	
普及促進委員会	1) ホームページの運営		ユーザ向けサービスの一層の拡充を図る
	2) Manufacturing Open Forum 2004 Tokyoへの参加	11月16日、17日 16日13:00-13:45 17日14:30-16:30	2日間田町NNホール、展示 セミナー パネルディスカッション 総会及び Manufacturing Open Forum 用パンフレット
	3) パンフレット作成		
技術委員会	1) PLCopen Japanとしてのビジョンの発信		5月総会・併設講演で動向とビジョンを提示 PLCopen-XMLについて11月のSICE、Manufacturing Open Forumで発表
	2) XMLスキーマの利用とポータビリティの研究		XMLスキーマ初版策定協力、Ver0.99の評価、XMLドキュメントによる異機種PLC間でのソフトウェア交換の有用性をプロトタイプで実証。成果をSICE及びMOF2004で発表。
	3) FBの動向調査		Motion Control-WG発足、欧州技術調査 Safety-WG発足準備
	4) 技術活動と情報の提供		知財関連対応整備；シーメンス特許、今後のライブラリー提供など 1)~3) 上記活動成果のHP紹介
	5) 認証関連準備		試験プログラムの整備・提案・提供 認証体制整備
	6) 委員会開催	XML-WG 4回実施 Motion-WG2回実施	
共通教育委員会	1) IEC61131-3説明資料の充実		IEC61131-3新解説図書出版(翻訳出版)準備
	2) ホームページの利用		ベンダー会員の資料、サンプル版ソフトのHP提示
ユーザ会運営準備委員会	1) ユーザによるセミナー実施		JFEレック 制御システム部主催 二橋孝之氏による講演(IEC61131-3の導入事例、効果ある使い方)
	2) PLCopen Japan ニュース発行		隔月およびHP変更時にニュースメールを発行準備

2005年度の主な活動計画

委員会	主な活動計画	日程等	説明
幹事会	方針： 2005年度は、PLCopen-XML、Motion Control、FBなど技術標準化活動を強化する。そして、それらがもたらすメリットをユーザに告知・啓蒙を通してPLCopen Japanのプレゼンスを高める。		
幹事会	1) 第2回総会兼技術セミナー	2005年5月25日	午前10:00~12:00 有決議権者会議 午後1:00~17:00 ユーザ招聘 技術セミナー
	2) SGP2005への参加	11月15日~18日	ビッグサイト 展示出展
	3) PLCopenとのミーティング	11月X日	
	4) 幹事会	月1回	
普及促進委員会	1) ホームページの運営		ユーザ向けサービスの一層の拡充を図る 各委員会向け提示版サービス
	2) 技術セミナー	6月1日 6月6日	大阪(橋河電機) 名古屋(名古屋市工業研究所)
	3) SGP2005への参加	11月15日~18日	ビッグサイト 展示出展
	4) パンフレット作成	11月X日 11月X日	ワークショップセミナー【XML、Motion Control】 JEMA主催セミナー(予定)【Motion Control, Safetyなど最新動向】 SGP2005に向けて作成
技術委員会	1) PLCopen Japanとしてのビジョンの発信		5月総会・併設講演で重点取り組みテーマ【PLC-XML活動成果と今後展開、参加者拡大】及び【Motion Control、FB標準化】について発表
	2) PLCopen-XMLスキーマ標準化と利用研究		XMLスキーマ初版リリースにあわせ、エンジニアリングやCAD/ソフト業界参加した拡大XML-WGに移行
	3) Motion Control FBの調査と利用研究		SGF2005で異機種・異メーカー間のアプリケーション相互利用実演 Motion Control-WGによる調査研究、本部TC2との情報交換
	4) Safety Softwareの調査研究		Safety-WGの立ち上げ、本部TC5との情報交換
	5) 技術活動と情報の提供		1)~4) 上記活動成果のHP紹介、利用企画 試験プログラムの整備・提案・提供
	6) 認証関連準備		認証体制整備
	7) 定例ミーティング	6回実施予定	
共通教育委員会	1) IEC61131-3資料の充実		IEC61131-3新解説図書出版(翻訳出版)
	2) ホームページの利用促進		ベンダー資料の提示、公開
ユーザ会運営準備委員会	1) ユーザによるセミナー実施		ユーザによるIEC61131-3の導入事例、効果ある使い方発表、ユーザ交流の場の提供
	2) PLCopen Japan ニュース発行		隔月およびHP変更時にニュースメールを発行

プログラミング
エンジニアリング コスト

PLC
ハードウェアコスト×5

解決策 IEC 61131 - 3

構造化プログラミング
標準化
再利用・ソフト部品ライブラリ

PLCopen本部 Motion Control,Safety,HMI・・・活動の幅広がる
欧米リード

PLCopen Japan・・・活動活発化、日本も標準化に貢献
産業オートメーション分野の発展に寄与

皆様のPLCopen Japanへのご参加、ご協力をお願いします。